



テントウムシを探してみましょ

ヒメカメノコテントウ



ナナホシテントウより小さな4mmほどのテントウムシ。身近に見られる種で、ハルジョオンなどの草上でアブラムシ類を食べます。

左写真の「亀甲型」がよく見られますが、他にも二紋型や黒色型、背すじ型などがいます。まるで別の種類ですね。

亀甲型



二紋型 (ほぼ背すじ型の個体)



黒色型

ナナホシテントウ



一番よく見られるテントウムシ。ごくごく稀に、左の写真のような斑紋の個体が見つかることがあります。見つけると良いことがあるかも？

ナミテントウ



7mmほどでナナホシテントウと同じくらいの大きさ。ナナホシテントウが草むらによくいいるのに対し、この種はノイバラやケヤキなど樹上でよく見られます。上の写真は、なんとすべてナミテントウ！色や斑紋はバラエティに富んでいます。

文と写真：武智礼央

「春しか会えない コンクリの赤い虫」

5月の公園に行ったらば、おひさまあたるコンクリの上、じいーっとじっと、見てごらんよ。いるでしょちっさな赤い虫。あしが8本、ダニなのよ。ちゃんとあるんだふしぎな名前、その名もカベアナタカラダニ！※

ダニといってもあんぜんよ。なんにも悪さはしませんとも。この虫、全員お母さんでね、落ちてる花粉を食べてるの。梅雨のころには卵を産んで、みんな命を終えるんだって。そうかー、がんばれ、母さんたち。応援したくなっちゃうよ。コンクリ表面でこぼこ迷路、じりじり焼けそな場所だのに、いっしょうけんめい生きてるよ。

※コンクリなどの「^{かべ}壁」にいて、体の特徴的な「^{とくちようてき}穴」をもち、幼虫の時、移動するために昆虫の体にくっつく様子が、昆虫のアクセサリーのように見えるから「宝」、そういうワケでつけた名前なんですって。

文と切り絵：山口すみれ



森のちいさなおはなし



とことこの合い言葉
センス・オブ・ワンダー

「センス・オブ・ワンダー」とは「神秘さや不思議さに目をみはる感性」のこと。誰もが持つ「豊かな心でいられる魔法？」です。「沈黙の春」を書いたレイチェル・カーソン氏の言葉であり、著書のタイトルでもあります。

とことこクラブ

東温市小さな子どものおさんぽ会
主催：東温市環境保全課新エネ推進係
協力：NPO 法人 自然環境教育えことのは



夜、ひっそりと羽化をするセミたち



ミンミンゼミ



ニイニゼミ



ツクツクボウシ



アブラゼミ



クマゼミ



羽化中のニイニゼミ



泥まみれのニイニゼミの抜け殻
(体長1cm)

セミの羽化

セミは種類にもよりますが、多くは日暮れ時に土中から出てきて木や壁などに止まって羽化をおこないます。幼虫の時代にアコーディオンのように縮まっていた翅は、体液を送り込むことでみるみるうちに伸びていきます。

梅雨時に羽化する「ニイニゼミ」は、広葉樹の根元近くに止まって羽化をすることが多いです。殻がたくさんついていたり、地面に複数穴が開いている場所を見つけたら、夜8時頃に行ってみましょう。羽化の様子が見られますよ♪

文と写真：武智礼央

「ニイニゼミのうた」

岩にしみいる声なのは ニイニゼミです 梅雨の頃
チーっと鳴いてるあのセミは きみより先に生まれてた
きみが大きくなる間 ずっと地面にもぐってた*
だれかと約束してたのか ある夜出てきた 羽はえた
残った抜け殻泥だらけ だろんこ遊びをしてたでしょ？



*ニイニゼミは成虫になるまで4年地中で過ごします。

子どもの頃のお食事は 木の根の汁です チューチューチュー
大人になってもおんなじで 幹に口差し チューチューチュー
偏食すぎ！かと思いきや 立派なセミになるふしぎ
木があったなら生きられる 木がなかったら生きられない
セミたちまるで木の子ども 桜の木の乳 どんな味？

文と切り絵：山口すみれ



森のちいさなおはなし

とことこの合い言葉
センス・オブ・ワンダー

「センス・オブ・ワンダー」とは「神秘さや不思議さに目をみはる感性」のこと。誰もが持つ「豊かな心でいられる魔法？」です。「沈黙の春」を書いたレイチェル・カーソン氏の言葉であり、著書のタイトルでもあります。

とことこクラブ

東温市小さな子どものおさんぽ会
主催：東温市環境保全課新エネ推進係
協力：NPO 法人 自然環境教育えことのは



じつは多いよ “アカトンボ”



アカトンボとは？

- ・トンボ科アカネ属のトンボ
- ・日本に21種1亜種、愛媛には16種類
- ・オスが赤くなる種類が多い
- ・メスは赤くならない種類が多い
- ・羽化直後はみんな黄色っぽい

翅の模様や胸部（翅が出ている部分）の黒いスジの形で見分けましょう！



※四角形の写真は胸部を拡大したもので、この黒いスジで種類を見分けることもできます。

文と写真：武智礼央



「心と種 ～フウセンカズラ～」

フウセンカズラの風船を ふくらませているのは きもちです
あれね 種だけ入ってるんじゃないのよ
さっくり割ったら 草のきもちが ぽっと飛び出すの
ハートの印のだいじな種が きっと守られますようになって
いいところまで転がって よい地に根づきますようになって
種はいのちの^{もと}葉だから 種がいのちをつなぐから

文と切り絵：山口すみれ

フウセンカズラの種の模様
ハートのところは おへそです
風船の中 おへそから
種は栄養もらってたのよ
お母さんのおなかの中
みんなもおへそでお母さんとつながってたでしょ
種がいのちをつないでいく そう 種は いのちです



とことこの合い言葉
センス・オブ・ワンダー

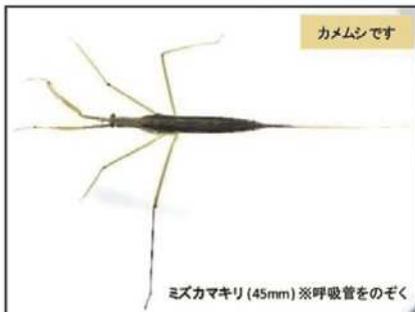
「センス・オブ・ワンダー」とは「神秘さや不思議さに目をみはる感性」のこと。誰もが持つ「豊かな心でいられる魔法？」です。「沈黙の春」を書いたレイチェル・カーソン氏の言葉であり、著書のタイトルでもあります。

とことこクラブ

東温市小さな子どものためのおさんぽ会
主催：東温市環境保全課新エネ推進係
協力：NPO 法人 自然環境教育えことのは



秋は、”水生昆虫”の季節です



文と写真: 武智礼央

温州みかんの季節

みかんの産地はあったかい
ご先祖はインドの生まれだとか
寒いところは苦手
おひさまのよく照るお山が好き

みかんのおへそはたしかにおへそ
木はお母さん みかんはこども
白いすじ通って栄養がいき
つぶつぶにあまいジュースたっぷり

エルマーはぼうけんの途中(※)
31コのおみかんを リュックに入れていったんだけ
手でかんたんに皮がむけてよかった
わたしも遠足に持ってこう

味も 色も 香りもよし
冷えこむ夜にはみかんの皮のおふろ 入ろうかな
七味の「陳皮」ってみかんの皮よ
台所のシンクのおそうじもしちゃう?

※『エルマーのぼうけん』 ルース・S・ガネット作 わたなべしげお訳 福音館書店



文と切り絵: 山口すみれ

とことこの合い言葉
センス・オブ・ワンダー

「センス・オブ・ワンダー」とは「神秘さや不思議さに目をみはる感性」のこと。誰もが持つ「豊かな心でいられる魔法?」です。「沈黙の春」を書いたレイチェル・カーソン氏の言葉であり、著書のタイトルでもあります。

とことこクラブ

東温市小さな子どものおさんぽ会
主催: 東温市環境保全課新エネ推進係
協力: NPO 法人 自然環境教育えことのは



冬でも見つかる？昆虫たちやその名残り



文と写真：武智礼央

へびになったら

へびになったら^{だっぴ}脱皮がしたい
一皮むけてつやつやに
目の玉までも皮むける
新品のわたしになれちゃうよ

へびになったら泳ぎたい
夏の田んぼをすらりと渡る
水陸両用へび隊長
へび型泳法金メダル

へびになったら舌出したい
ちろちろ出したりひっこめたり
あれでおいがわかるんだって
新感覚の世界かんじる

へびになったら^{とうみん}冬眠だ
しめしめずっと寝ていよう
正月干支のお祝いも
知らずにしっぽり土の中



文と切り絵：山口すみれ

とことこの合い言葉
センス・オブ・ワンダー

「センス・オブ・ワンダー」とは「神秘さや不思議さに目をみはる感性」のこと。誰もが持つ「豊かな心でいられる魔法？」です。「沈黙の春」を書いたレイチェル・カーソン氏の言葉であり、著書のタイトルでもあります。

とことこクラブ

東温市小さな子どものおさんぽ会
主催：東温市環境保全課新エネ推進係
協力：NPO 法人 自然環境教育えことのは



ツインドーム周辺の春の生きもの♪



ベニシジミ (翅を開くと3cm)
幼虫で越冬。春早くに蛹になり、その後羽化して出てきます。幼虫は酸っぱいスイバの葉などを食べます。



キタキチョウ (翅を開くと4cm)
冬の間は成虫のまま草むらにいて春になると出てきます。**モンキチョウ**とは黒い模様が違います。



モンシロチョウ (翅を開くと5cm)
冬の間は蛹で過ごし、春に羽化して出てきます。よく似た**スジグロシロチョウ**は翅の黒いスジが目立ちます。



ツチイナゴ (翅の先までで5.5cm)
マメ科の葉が大好物のバッタ。幼虫はきれいな緑色をしています。眼の下の模様がポイント☆成虫で越冬します。



ナナホシテントウ (0.8cm)
成虫のまま、単独で草の根際などで冬を越し、春になるとカラスノエンドウなどにいるアブラムシ類を食べに出てきます。



ニホンアマガエル (4cm)
土中で冬を越し、春になるとどこからともなく現れます。3月頃でも暖かい日は声を聴くことができます。土に潜っていたので、春一番は茶色や灰色の姿をしていることが多いです。

文と写真：武智礼央



Sing, Sing, Sing ウグイス事情



文と切り絵：山口すみれ

ウグイスの男子は 歌さうまければ
モテるんだ ホー ホケキョ
なわばり争いは のど自慢で解決
平和だなあ ホー ホケキョ
小さいからだで 1円玉18枚の重さ！

歌のうまい息子 実は習ったんだ
父さんに ホー ホケキョ
ヒナの頃から 聴いて育ったんだね
母さんは歌わない 虫捕って食べさせるよ

いつもヤブの中 ヤブ色でひそむ
声だけが ホー ホケキョ
ウグイス餅色なのはメジロ！

春夏の繁殖期、オスのみ「ホーホケキョ」と鳴くことでなわばりを守り、メスに求婚します(さえずり)。「ケキョケキョケキョ」は敵を警戒する鳴き方(谷渡り)。秋冬にはオスメスとも「ジャツ ジャツ」と鳴きます(地鳴き)。
1年中ウグイスはヤブに住んでいるんですよ。

とことこの合い言葉
センス・オブ・ワンダー

「センス・オブ・ワンダー」とは「神秘さや不思議さに目をみはる感性」のこと。誰もが持つ「豊かな心でいられる魔法？」です。「沈黙の春」を書いたレイチェル・カーソン氏の言葉であり、著書のタイトルでもあります。



東温市小さな子どものおさんぽ会
主催：東温市環境保全課新エネ推進係
協力：NPO法人 自然環境教育えこのは